

医師の日常業務について

皆さまに当院の医師についてより一層のご理解をいただくため、各医師の日常業務をシリーズで紹介してまいります。

武田 光 先生（内科）の一週間

大切な仕事は 2 つあります。ひとつは外来診療で、これが最も大切な仕事と思います。月曜日午前中と木曜日午前・午後に外来診療を行っています。受診する患者さんは主に慢性疾患（高血圧、糖尿病、心筋梗塞、狭心症、心不全、不整脈など）と、近隣の開業医の先生からのご紹介患者さん、院内各科からの紹介患者さんです。木曜日は 40－50 人の患者さんが受診されます。東は東かがわ市、西は観音寺市など遠くからの患者さんもいらっしやいます。30 数年来通院しておられる患者さんも何人かいらっしやいます。

もう一つの大切な仕事は心臓カテーテル検査とカテーテルを用いた治療、ペースメーカーの植え込み手術です。これはルーティンでは月曜日午後、木曜日午後のいずれも外来診療後に行っています。カテーテル検査は狭心症、心筋梗塞の診断のための冠動脈造影です。冠動脈や下肢動脈に狭窄のある患者さんに対しては、動脈の狭窄部にステントを留置して拡張する治療を行っています。



また急患の検査・治療はいつでも行っています。

急性心筋梗塞については現在のスタッフの状態では対応できませんが、狭心症の場合はいつでも治療を行っています。

そのほかの仕事としては、週に 1 日近くの高校の看護科で講義を行っています。病気について興味を持ってもらうこと、また滝宮総合病院の仕事にも興味を持ってもらうように心がけて講義を行っています。卒業後は滝宮総合病院で仕事をしたいです。

胸のあたりの具合が悪い方はいつでもご相談ください。

西森 緑 先生（小児科）の一週間

毎日、外来診療を行い、入院が必要なお子さんがいれば入院診療も行っています。

木曜日には香川大学医学部附属病院の小児科医師が診療にあたりますが、基本的には私 1 人で診療を行っています。一般外来ではかぜやインフルエンザ・水痘などの一般感染症、てんかんなどの神経系疾患、気管支ぜんそく・アトピー性皮膚炎などのアレルギー性疾患を多く診療しています。専門外来としては低身長・成長障害・肥満・脂質異常・甲状腺疾患・性分化異常症、などが挙げられます。また、予防接種や育児栄養指導を含んだ乳幼児健診も行っています。

毎週のいずれかの曜日にということではありませんが、近隣小学校・こども園の学校（園）医として健康診断の他、保健計画および安全計画の立案に協力したり、学校の環境衛生に関する指導や助言をしたりしています。

小児科医は、乳幼児から思春期（15 歳）まで、幅広い年齢層のさまざまな疾患の診断・治療を行います。子どもは大人と異なり、自分の痛みや不調を適切に表現できないことがあります。この意思疎通の難しさは、病状の判断の難しさに繋がります。そこでお願いです。受診に際してはお子さんの様子を一番把握している人が一緒にいらして下さい。母子健康手帳やお薬の記録、体温・便の記録もあれば持参いただければ嬉しいです。症状や経過を詳しく伝えていただくことが診断に役立ち、お子さんにとっても有益です。



合田 真由美 先生・野間 聖子 先生・亀山 麗子 先生（放射線診断科）の一週間

放射線診断科をご存じでしょうか？放射線診断科の医師は、内科や外科などの先生から依頼された検査画像を診て（読影と言います）、患者さんの病態や状況を判断し、その結果（所見と言います）を提供する専門家です。このため、患者さんを直接診察することはほとんどありません。

ちなみに、放射線科の専門医には、読影のプロである診断専門医と治療専門医の2種類があります。治療医は、その名のとおり、放射線治療を専門とするもので、高島先生がこちらの専門医です。どちらも放射線科の領域ですが、診断医と専門医では業務内容が大きく異なります。

当院に画像診断装置は、80 列CT装置 1 台、1.5 テスラMRI 装置 1 台、デジタルPET-CT (64 列) 装置 1 台、2 検出器ガンマカメラ 1 台、X線透視装置 3 台、マンモグラフィー装置 1 台、コーンビームCT付き血管造影装置 1 台があり、CT、MRI、PET-CT、ガンマカメラで得られた画像は、検診などの一部を除きすべて診断医が読影し、翌診療日までに主治医に報告しています。基本的に毎日、朝から夕刻までデスクワークですので地味に思われるかもしれませんが、読影の結果が患者さんの診断や治療に大きな影響を与えるため、緊張感を持って一つひとつの画像を読影しています。

また、当院の特徴として、画像を使った予防医学にも注力しています。PET検診の結果説明は私たち読影医が担当しており、一般の方にも放射線診断科について知っていただく良い機会となっています。



岡田 卓巳 先生（整形外科）の一週間

当院での整形外科の仕事は外来、手術、病棟業務、救急対応の大きな分類では 4 つに分けることができます。私の外来診察日は月曜日（午前・午後）、水曜日（午後）、金曜日（午前）です。月曜日は予約外来に加え初診外来も行っております。週末に怪我をされた方や開業医さんからの手術相談症例なども集まるため、やや混み合うことが多いです。水曜日は主に予約患者さんの外来を実施していますが、急な怪我の場合は対応可能なこともありますので電話でお問い合わせください。

外来がない火曜日、木曜日は手術を行っています。当院では骨折などの外傷症例に対する手術加療を主に行っています。地域柄、ご高齢の方の大腿骨骨折、上腕骨骨折、手関節骨折が多いです。その他、肩・膝の人工関節手術、肩・膝の関節鏡手術も行っています。水曜日午前、金曜日午後は主には病棟業務に充てたいところなのですが、救急対応や猝に入りきらない症例の手術を行っていることが多いです。整形外科以外にも、外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科などの手術を行っているため、全身麻酔での手術などは他科の先生とも相談しながら手術日程を決めています。



外来・手術の合間や業務終了後に病棟回診を行っています。当院ではそれぞれの担当看護師やリハビリセラピストが患者さんの状態を細かく把握してくれているので、容態の変化や要望があった場合はすぐに把握することができます。できるだけ毎日顔を合わせて入院患者さんと対話を行い、安心して入院生活を送ってもらえるように心がけています。岡田が外来に出ていないタイミングでは山下が外来診察を行っておりますので、お困りの場合は電話にて問い合わせしてみてください。